

企業版ふるさと納税とは？

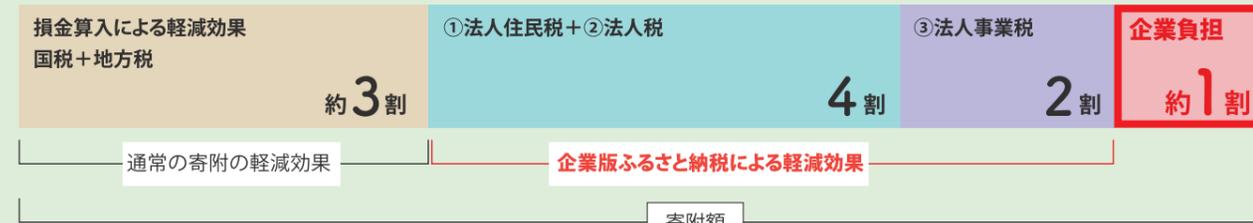
企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して寄附した企業が、税制上の優遇措置を受けられる制度で、「糸島サイエンスヴィレッジ（SVI）」はその認定プロジェクトとなっています。この制度で寄附をいただくと、最大で寄附額の約9割分の税額が軽減され、実質的な企業の負担が約1割にまで軽減されます。

企業版ふるさと納税FAQ

- Q：寄附金額に下限はありますか？
A：企業版ふるさと納税の対象となる最低寄附額は10万円です。
- Q：糸島市内に本社がある企業は、糸島市に企業版ふるさと納税をすることはできますか？
A：本社が糸島市にある企業からの寄附は控除対象となりません。
- Q：寄附をする際に留意することはありますか？
A：寄附を行うことの代償として、経済的な利益を受けることは禁止されています。

寄附控除割合のイメージ

税の軽減効果が **3** 倍！ 最大約 **9** 割に！



科目ごとの特例措置の内容

- 法人住民税：寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
- 法人税：法人住民税の控除額が寄附額の4割に達しない場合、寄附額の4割に相当する額から法人住民税の控除額を差し引いた額を控除（寄附額の1割、法人税額の5%が上限）
- 法人事業税：寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

寄附した企業4つのメリット

企業版ふるさと納税には、さまざまなメリットがあります。

1

税務上の優遇措置

ふるさと納税を通じて行われる寄附金は、法人税や所得税の控除の対象となり、企業は寄附を通じて税務上のメリットを享受することができます。

2

地域振興への貢献

企業版ふるさと納税を通じて得られた寄附金は、地方創生に資するプロジェクトに活用され、糸島市全体の発展に寄与し、糸島市の住民に直接的・間接的な恩恵をもたらすことができます。

3

地域社会との結びつき強化

ふるさと納税を通じて、企業は糸島市の地域社会に貢献する姿勢を示すことができ、地域とのパートナーシップを深めることができます。また、SVIの最新情報を受け取ることができます。

4

PR効果

SDGs未来都市である糸島市に寄附することで、企業の社会的責任（CSR）活動としてPRすることができます。また、300万円以上の寄附の場合、市長から直接感謝状を贈呈する機会が設けられます。

企業版ふるさと納税による
持続可能なまちづくりに御社も参加しませんか？



応援してください！

未来をともにつくる 糸島サイエンス・ヴィレッジ

Science Village in ITOSHIMA



糸島市の紹介 糸島市 Itoshima City 人口：約10万4,000人 面積：215.69km²

福岡県の西部に位置し福岡市に隣接、北側には玄界灘に面した美しく変化に富んだ海岸線が続き、南側には脊振山系の山々が連なるまちです。中央部のなだらかな糸島平野には、広大な田園地帯が広がり、東西に通るJR筑肥線（福岡市営地下鉄と直結）、国道202号沿線を中心に市街地が形成されています。

2000年以上前から、大陸からの文化や人を受け入れてきた悠久の歴史を感じる土地であり、現在も国内外から多くの人たちが移住してきています。また、市内北部、福岡市にまたがり九州大学が立地し、学術研究都市づくりにも取り組んでいます。さらに、令和5年にはSDGs未来都市に選定され、「人とまちの魅力が輝く豊かさ実感都市 いとしま」の実現を目指しています。

お問い合わせ・申込先



企業の皆様からのご支援をお待ちしております。詳細は以下問合せ先までご連絡ください。

◎ 企業版ふるさと納税の手続きに関して

糸島市 経営戦略部 企画秘書課

TEL：092-332-2061 E-mail：kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

◎ 糸島サイエンス・ヴィレッジに関して

糸島市 経済振興部 学研都市づくり課

TEL：092-332-2079 E-mail：svi@city.itoshima.lg.jp

糸島サイエンス・ヴィレッジ構想とは

職住余暇一体の「まちづくり」を研究・実装する「まち」をゼロからつくる構想です。

糸島サイエンス・ヴィレッジ構想（SVI）は、九州大学を中心に、地域住民、地元事業者、学生、研究者、企業、研究所などが集い、活発に交流することでさまざまな分野のイノベーションや新産業が生まれるまちをつくるプロジェクトです。

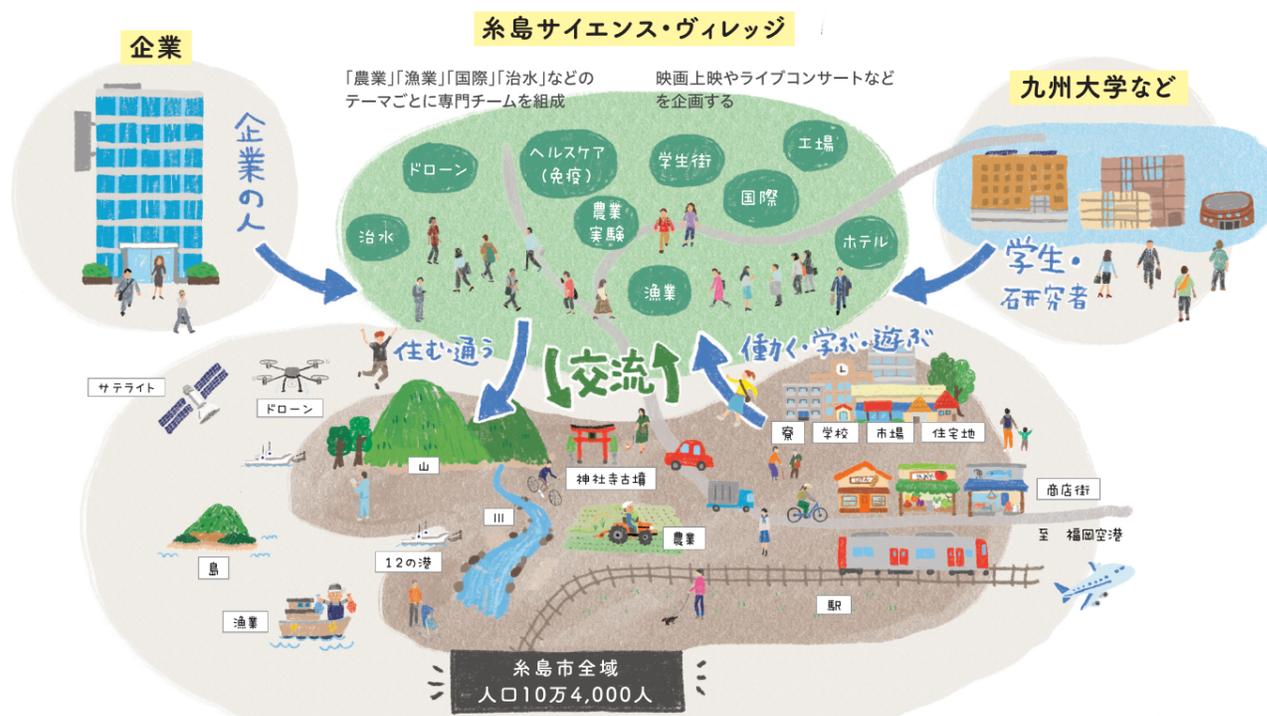
SVIのまちづくりは、糸島市、九州大学、民間企業で構成する「一般社団法人SVI推進協議会」を中心に「まちづくりを研究・実装するまち」の実現を目指します。学生街、農業、エネルギー、通信、宿泊等、さまざまなテーマを持つユニットが集まり、まちがつくられていきます。また、そのフィールドを市全域へと拡張していくことで、市民や地元事業者などとの交流を促進させ、地域資源との融合へとつなげていきます。私たちは、これを「糸島まちづくりモデル」という新しいまちづくりのカタチとして国内外に発信していきます。



動画でSVIのまちづくりを見てみよう!

どのようなまちづくりを目指しているのか？ SVIウェブサイトにて、分かりやすく動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

人と人との交流を深め、「より善きまち」をつくる SVIまちづくり構想



糸島サイエンス・ヴィレッジは、「まちづくりを研究・実装するまち」。企業や研究者・学生がここで暮らしながら、糸島市内をフィールドに地域の実情を学び、人々が幸せに暮らせるまちを追究します。



九州大学の学生団体による建屋改修の様子



荷物を運ぶ移動支援ロボットの実証実験



直流給電による再生可能エネルギーを効率よく利用して照らされた建屋



市民・九大関係者とSVIを語る「未来フェスいとしま」

いただいた寄附金の使い方

「はじまりの地」をSVIのショーケースとするため、各プロジェクトの原資として活用していきます。

拠点
施設
改修

実証
実験

土地
利用
検討

SVIでは、敷地エリア内で未活用だった糸島市の旧清掃センター（約1ヘクタール）を拠点とし、「はじまりの地」としてまちづくり構想を実現するための各種実証実験、SVIの取組のPRなどを行っています。皆さまからいただいた寄附金は、建屋の改修作業や各種実証実験、市民への周知など、プロジェクトの原資として活用しています。さらに、今後は2023年10月にSVI推進協議会がコンセプトをまとめた「SVIまちづくり構想」を実現するために必要な土地利用の検討にも寄附金を活用していきます。

寄附をいただいた企業の皆さま

これまでに、全国のさまざまな企業のみさまからの寄附をいただいています。

- (株) エクストーン
 - (株) ビットメディア
 - (有) 未来検索ブラジル
 - 村本建設 (株)
 - (株) 梓設計 九州支社
 - アスミオ、(株)
 - (株) ヴェントゥーノ
 - (株) 福博電興
 - (株) スチームシップ
 - 他
- (※都道府県番号順で掲載)

x t o n e

bitmedia

Brazil

村本建設株式会社

ともに美しく生きていく。 VENTUNO

ASUMIO

Steamship



糸島市長 月形祐二 (つきがた ゆうじ)

市長からの挨拶とお願い

積み上げてきた「ブランド糸島」官民連携による「ワンランク上のまちづくり」を

糸島市はこれまで積み上げてきた「ブランド糸島」政策が効果を発揮し、「住んでよし、訪れてよし」のまちとして、観光客も、移住者も増加しています。次は、「働いてよし」を意識し、新たな価値やサービスを生み、雇用を創出していきます。そして、将来の人口減少を見据えつつ、持続可能なまちを実現するため、「ワンランク上のまちづくり」へ。そのために、行政や地域の自立度や市民の安心感を高め、糸島の魅力もさらに磨き上げることで、サービスの量的拡大だけでなく質的な暮らしの向上を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを目指していきます。実現には、地域における官民連携の視点が不可欠です。企業の皆さまのご支援をお願い申し上げます。

現在進行中のプロジェクト

SVIでは、現在、さまざまなプロジェクトが日々進行しています。ここでは主な8つのプロジェクトを紹介します。

- ① ローカル5Gプロジェクト**
「はじまりの地」に設置したローカル5G機器を活用した実証事業
- ② 省エネ・再エネ推進プロジェクト**
「はじまりの地」を小さな集落（村）と仮定し、「直流の輪（マイクログリッド）」をつくり、その仕組みを示す実証実験
- ③ PR活動**
SVIの取組についての広報媒体を作成し、市内外の企業、大学関係者、市民への周知活動及びイベントを実施
- ④ 公共的メタバースの構築と検討**
メタバース（仮想空間）技術を産業や公共インフラとして実装する「公共的メタバース」を展開するための技術的・社会的な仕組みの構築
- ⑤ まちづくりワークショップによるSVI土地利用検討**
「はじまりの地」及び周辺地区の土地利用の検討を行うためのまちづくりワークショップ等の開催
- ⑥ SVIの魅力向上に資する環境整備**
市から借用する旧清掃センターの土地を各種実証事業、企業関係者による視察、協議スペースなどが行えるSVIの拠点「はじまりの地」として改修
- ⑦ リビングラボプロジェクト（いとしま免疫村研究）**
「リビングラボ」「ウェルビーイング」によるまちづくりのために、令和4年度に九州大学と糸島市で検討した「いとしま免疫村」の具体化を図るための、公共的メタバースなどとの連携を見据えた研究
- ⑧ 資金調達プロジェクト**
SVIで進めるべき事業をつくり投資していく「インキュベーションアプローチ」による「投資事業有限責任組合（ファンド）」の設立、SVI実現を目的とした糸島市への企業版ふるさと納税の協力依頼